

◎福祉社会学専攻

<博士前期課程>

授業科目	単位数 (○印は必修)	授業を行う年次	教職関連科目 (専修・福祉)
福祉社会論特講	②	1・2	□
福祉社会論研究	2	1・2	
社会福祉方法論特講Ⅰ	2	1・2	□
社会福祉方法論特講Ⅱ	2	1・2	□
社会福祉政策論特講	4	1・2	□
精神保健福祉論特講Ⅰ	2	1・2	□
精神保健福祉論特講Ⅱ	2	1・2	□
社会病理学特講Ⅰ	2	1・2	□
社会病理学特講Ⅱ	2	1・2	□
環境社会学特講Ⅰ	2	1・2	
環境社会学特講Ⅱ	2	1・2	
社会集団論特講	2	1・2	□
社会心理学特講Ⅰ	2	1・2	
社会心理学特講Ⅱ	2	1・2	
認知心理学特講Ⅰ	2	1・2	
認知心理学特講Ⅱ	2	1・2	
発達教育学特講Ⅰ	2	1・2	☆
発達教育学特講Ⅱ	2	1・2	☆
教育福祉論特講Ⅰ	2	1・2	☆
教育福祉論特講Ⅱ	2	1・2	☆
社会教育学特講Ⅰ	2	1・2	☆
社会教育学特講Ⅱ	2	1・2	☆
障害学特講Ⅰ	2	1・2	□
障害学特講Ⅱ	2	1・2	□
社会保障論特講Ⅰ	2	1・2	
社会保障論特講Ⅱ	2	1・2	
社会福祉方法論演習	4	1・2	□
社会福祉政策論演習	4	1・2	□
社会病理学演習Ⅰ	2	1・2	
社会病理学演習Ⅱ	2	1・2	
環境社会学演習Ⅰ	2	1・2	
環境社会学演習Ⅱ	2	1・2	
社会心理学演習Ⅰ	2	1・2	
社会心理学演習Ⅱ	2	1・2	
社会教育学演習Ⅰ	2	1・2	
社会教育学演習Ⅱ	2	1・2	
教育福祉論演習Ⅰ	2	1・2	☆
教育福祉論演習Ⅱ	2	1・2	☆
精神保健福祉論演習Ⅰ	2	1・2	□
精神保健福祉論演習Ⅱ	2	1・2	□
発達教育学演習Ⅰ	2	1・2	☆
発達教育学演習Ⅱ	2	1・2	☆
認知心理学演習Ⅰ	2	1・2	
認知心理学演習Ⅱ	2	1・2	
障害学演習Ⅰ	2	1・2	
障害学演習Ⅱ	2	1・2	
社会保障論演習Ⅰ	2	1・2	
社会保障論演習Ⅱ	2	1・2	
研究指導	④	2	
修士論文	—	—	

履修方法及び修了要件

1. 2年以上在学して、全授業科目の中から30単位以上を修得しなければならない。なお、本研究科の公共政策学専攻又は公共政策学部の授業科目を履修した場合、修得した単位のうち12単位までは、研究科会議の承認を得て、修了に必要な30単位に含めることができる。また本学の他研究科及び公共政策学部以外の学部の授業科目を履修した場合、ならびに龍谷大学大学院政策学研究科との単位互換協定に基づく授業科目を履修した場合は、修得した単位のうち8単位までを上記12単位に含めることができる。

2. 所定の30単位のうち、福祉社会論特講2単位、各自の研究分野に属する演習4単位、ならびに研究指導4単位の計10単位を必ず修得しなければならない。

3. 上記の30単位とは別に、指導教員の指導のもとに修士論文を提出し、修士論文の審査及び試験に合格しなければならない。

4. 高等学校教諭（福祉）の専修免許状を取得するには、修士の学位を有し、当該一種免許状を取得、または取得に必要な単位数を修得し、加えて表の「教職関連科目（専修・福祉）」（教科専門等科目（□印）と教職基礎等科目（☆印）の中から）から24単位以上修得しなければならない。なお、専修免許状の申請は、修了年度の10月初旬頃に学務課教務担当に申し出ること。

<博士後期課程>

授 業 科 目	単位数	授業を行う年次
福祉社会学特殊研究演習Ⅰ（比較社会福祉）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅱ（社会福祉方法）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅲ（社会福祉政策）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅳ（社会病理学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅴ（生涯発達・学習）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅵ（教育福祉専門職）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅶ（環境社会学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅷ（精神保健福祉）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅸ（発達教育学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅹ（認知心理学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅺ（障害学）	4	1・2・3
福祉社会学研究指導	④	1・2・3

履修方法及び修了要件

3年以上在学して、「福祉社会学研究指導」4単位ならびに研究指導を受けようとする教員が担当する「福祉社会学特殊研究演習」4単位の計8単位以上を修得し、かつ指導教員の指導のもとに必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。